



サザンカ

W  
 Power Alliance Tax Accountants Office  
 パワーアライアンス税理士事務所

News

編集発行人

パワーアライアンス税理士事務所  
 税理士 若杉 治  
 〒151-0073  
 東京都渋谷区笹塚3-37-1  
 第1花井ビル2F  
 TEL 03 (5365) 4744(代)  
 FAX 03 (5365) 4745  
 E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

◆ 11月の税務と労務

11月

(霜月) NOVEMBER

3日・文化の日 23日・勤労感謝の日

- 国 税 / 10月分源泉所得税の納付 11月12日
- 国 税 / 所得税予定納税額の減額承認申請 11月15日
- 国 税 / 所得税予定納税額第2期分の納付 11月30日
- 国 税 / 9月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 11月30日
- 国 税 / 12月、3月、6月決算法人の消費税等の中間申告(年3回の場合) 11月30日
- 国 税 / 3月決算法人の中間申告 11月30日
- 国 税 / 個人事業者の消費税等の中間申告(年3回の場合) 11月30日
- 地方税 / 個人事業税第2期分の納付 都道府県の条例で定める日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	.

※税を考える週間 11月11日～11月17日

ワンポイント

**集中電話催告センター室(納税コールセンター)** 新規国税滞納事案等を所轄税務署に代わり電話や文書により納税催告を行う国税局(所)内の部署。滞納者情報データを「集中電話催告システム」で処理し、自動的に機械が滞納者に電話を掛け、応答した時点で担当職員が納付催告を行います。催告を受けた7割超の滞納者が完納しています。

# 断捨離／エッセンシャル思考

## 断捨離

今年も早いもので十一月。大掃除が気になる季節になりましたが、「断捨離」という言葉をご存知でしょうか。

断捨離には、不要な物を「断ち」、「捨」てることで、物への執着から「離」れる、という意味があるそうです。「使える物だから勿体ない」ではなく、「物は使うものであり、とっておくものではない」と考え、絶対に必要なものだけを残し、要らないものを捨ててしまうことで、空間や気持ちにゆとりが生まれます。日常生活に限らず、仕事上も、余計な物を置かず職場の整理整頓をすれば、仕事の質も効率も上がると思います。普段から断捨離を心がける必

要がありますが、断捨離は物だけでなく仕事そのものにも必要になることがあります。

## エッセンシャル思考

断捨離と同様な考え方で有名な「エッセンシャル思考」があります。海外の大手企業のアドバイザーを務める、グレッグ・マキューン氏が提唱している考え方です。「エッセンシャル思考」とは、重要な仕事を見極め、それ以外の仕事は計画的にそぎ落とすというものです。時間とエネルギーを効果的に配分し、「より少なく、しかしより良く」を追求することで最高のパフォーマンスを発揮しようという考え方です。

優秀になった人ほど、「あの人に任せておけば大丈夫」となり、

いろいろ人に頼られてしまいいひたすら仕事に追われかねません。相手の機嫌を損ねたくないし、期待に応えたい。そう思っているうちに、どうしてもいい仕事までどんどんと舞い込み、いつのまにか追われて、結局は他人の言いなりの人生を送ることになってしまおうとグレッグ・マキューン氏は警告しています。

この数年で情報は大量に世の中に溢れ、私たちの選択肢は急激に増えていきます。インターネットなどを通してなだれ込む様々な情報や他人の意見、欲を刺激し続けるテレビCMやWEB広告。こうした影響から、あれもこれもと手を出す感覚が蔓延し、何が大事で何がそうでないかを見分けられなくなっているという状況をグレッグ・マキ

ューン氏はクロゼットに例えています。二度と着ないであろう服でいっぱいになり、本当に着たい服が見つからないような状況だと。いらぬ服は捨てなければいけないわけですが、「いつか着るかもしれない」という考えをまぜ捨てなければいけない。人は自分の持ち物を実際より高く評価する傾向があるため、なかなか捨てる決断ができないものだからです。

服は捨てれば終わりですが、仕事や用事はどんどん増殖していくため、日頃から整理整頓を習慣にしなければいけません。その都度、「イエス」か「ノー」かを吟味して判断する必要があります。検討せずにも引き受ける人に比べ、エッセンシャル思考の人はより多くの選択肢を検討することになっていきます。エッセンシャル思考はまず「選ぶ」ことが第一歩となり、このほか「ノイズ」「トレードオフ」の三つの考え方が基礎をなしているとしています。「ノイズ」とは大多数の物事は自分にとって不要であることを

知ることです。グレッグ・マキ  
ユーン氏は子どもの頃にアルバ  
イトを通して、時給一ポンドの  
仕事がある一方で、時給六ポ  
ンドの仕事があることを知り、時  
間と成果の関係に気づかされた  
と語っています。ただがむしゃ  
らに頑張ればいいというもので  
はなく、どこに重点を置かか  
大事なことであり、それ以外は  
目を向けないようにするという  
考え方です。

「トレードオフ」とは何かを選  
ぶには、何かを捨てなければい  
けないという考え方です。ビジ  
ネス戦略でいえば、格安航空会  
社がその典型となります。サー  
ビスの過剰さを廃止するかわり  
に、低価格路線を選択して利益  
を産み出す仕組みを作っていま  
す。

しかしながら、この判断が意  
外と難しいのです。なぜならト  
レードオフが起こるのは、どち  
らも捨てたいような状況だか  
らです。非エッセンシャル思考  
の人はトレードオフが必要な状  
況になったとき、「どうすれば両  
方できるだろうか？」と考えて  
しまうものだと思います。さら

には、忙しい仕事をしているこ  
とが有能さの証だと思ってしまう  
っているため、余暇や家族の時  
間や睡眠時間を削ってまで全て  
の仕事をやろうとしてしまいま  
す。しかし、そこそが逆効果。  
「睡眠」は体調を整え、脳のパ  
フォーマンスを高めるために必  
要なものです。余暇や家族サー  
ビスによる「遊び」は脳を創造  
的にし、ストレスを軽減してく  
れます。なにより寝る間も惜し  
んで働いて、心身のバランスを  
崩しては元も子ありません。  
ときには電話もメールもシャッ  
トアウトして、考える時間を意  
識的に作ることも大切です。  
ビル・ゲイツは年に二回ほど  
「考える週」を定期的にとってい  
たことで知られています。その  
1週間に大量の本や記事を読み  
で最新技術について学び、ビジ  
ョンを考えるようにしていたの  
です。とはいえ、人は本来的に  
関係性に縛られた生き物ですか  
ら、なかなかノーとは言えませ  
ん。上手に断るには、関係性か  
ら切り離して考え、直接的でな  
い表現を使うといいとグレッグ・  
マキユーン氏はアドバイスして

います。たとえば、沈黙してそ  
れとなく意志を伝えたり、別の  
日の代替案を出したり、「予定  
を確認して折り返す」と一端、  
間を置いて断るのです。相手が  
上司で断りにくい場合は、「どの  
仕事を後まわしにしますか？」  
と逆に返し、上司にトレードオ  
フを意識させるといいでしょう。  
ノーを言うことで、たしかに短  
期的に相手と気まづくになるこ  
とはありますが、長期的に見ると  
「自分の時間を安売りしない」と  
いうメッセージになり、プロフ  
エーションナルの証として相手か  
ら敬意を得られることにつなが  
ります。自分にとって重要なこ  
とと不要なことを見極めるため  
には、最終的にどう生きたいか  
という「本質目標」を定めるこ  
とだといえます。たとえば「弁  
護士ではなく医者になる」と決  
めてしまえば、何を学ぶべきか  
が明らかになり、その後のあら  
ゆる決断の助けにもなります。  
あるいは社会的な意義や家族を  
大切にするといいものでもいい  
のです。一番大切なことを決め  
ることで、次々とやってくるタ  
フな選択肢の前で、後悔せずに

判断できるようになります。  
エッセンシャル思考の目標は、  
単に世間的な成功を手に入れる  
ことではありません。人生に意  
味と目的を見出し、それを成し  
遂げるために、それ以外のもの  
を捨て去る勇気を持つことなの  
です。

エッセンシャル思考の考え方  
のポイントをまとめると次のよ  
うになります。

- ① すべてをやろうとすると、  
すべてが中途半端になる
  - ② 重要な仕事に集中し、それ  
以外を削ぎ落とす
  - ③ 断る勇気を持ち、目標のた  
めに計画的に時間を使う  
要するに、仕事の断捨離も必  
要だということです。リスクヘ  
ッジのために色々な考え方が大  
事です。「そうは言っても」な  
どの否定的な考え方も多数ある  
かもしれません。
- しかしながら、常に中途半端  
になり判断に迷う事が多い方は、  
一度仕事や行動の断捨離をして  
みてはいかがでしょうか。新た  
な自分が見つかり、仕事がか  
どり、豊かな人生に変わるかも  
しれません。

